

8

記録データの出力

記録したデータの確認と出力をおこないます。

出力したデータファイルが、Windows のエクスプローラーで表示されない場合は

以下の操作をお試しください。

- ・ エクスプローラーで「最新の情報に更新」をおこなう。（F5キー押下）
- ・ USBケーブルを一旦抜いて差し直す。
- ・ 端末（スマートフォン）を再起動する。

8-1 記録したデータを確認する

測設・観測・3D施工で記録したデータ（座標）を確認します。

- 1 ホーム画面の
「データ管理」をタップ
します。
- 2 「測設データ」
「観測データ」
「3D施工データ」
の各ボタンをタップして、記録
したデータを確認します。



「測設データ」

戻る 測設データ管理	
Q	
点名	X/Y/Z座標
SZ-端点	99.902 99.997 5.400
SR-NO.2R	99.502 100.802 5.158

「観測データ」

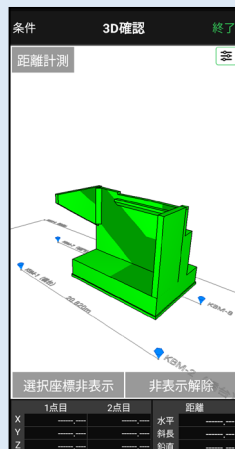
戻る 観測データ管理	
Q	
点名	X/Y/Z座標
KO-No.2-1	99.360 100.799 4.993
KO-No.2-2	99.585 100.804 5.202
KO-No.2-3	99.667 100.795 5.204

「3D施工データ」

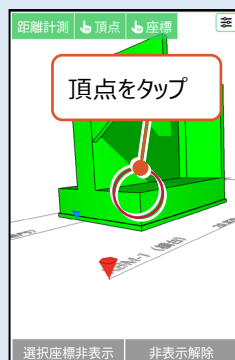
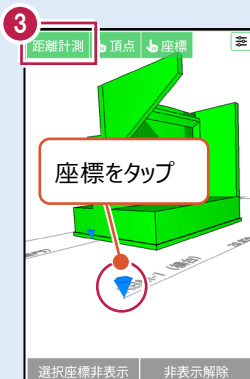
戻る 3D施工データ管理	
Q	
点名	X/Y/Z座標
ST-NO. 2+0.005-1	99.606 100.805 4.993
ST-NO. 1+0.004-1	99.911 100.404 5.401
ST-NO. 0+0.398-1	99.926 100.398 5.410

TIN の頂点と計測した座標の距離を確認する場合は

〔データ管理〕－
〔座標データ〕の〔3D〕を
タップします。

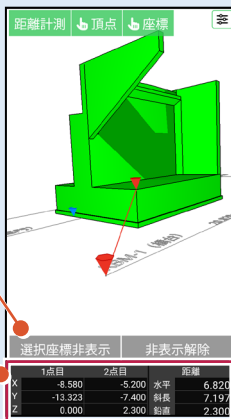


〔距離計測〕をタップして、計測
する2点（頂点または座標）を
選択します。



〔頂点〕ボタンがオンの時は頂点
がタップできます。
〔座標〕ボタンがオンの時は座標
がタップできます。

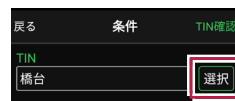
タップした2点が赤色で表示され、
距離が確認できます。



〔選択座標非表示〕で
表示が不要な座標を非表示
にしておくこともできます。

1点目、2点目の座標値
と、水平距離、斜長、鉛直
距離が確認できます。

左上の〔条件〕で
TINを切り替えます。



8-2 座標データ（SIMA）を出力する

現場データ内の座標データを、SIMA形式で出力します。

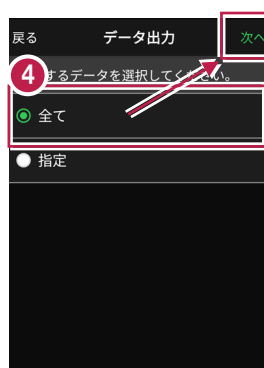
- 1 ホーム画面の
[データ管理] をタップ
します。

- 2 [データ出力] をタップ
します。



- 3 [座標（SIMA）] を
選択して [次へ] をタップ
します。

- 4 現場データ内の座標データ
をすべて出力する場合は
[全て] を選択して
[次へ] をタップします。



座標データを CSV 形式で出力する場合は

データ出力で [座標（CSV）] または [座標（CSV：末尾コンマ付）] を選択して [次へ] をタップします。出力されるのは、以下の項目です。

・座標（CSV）・・・点名,X座標,Y座標,Z座標,属性,計測日時,目標点名,目標X座標,目標Y座標,目標Z座標,差（水平距離）,差（鉛直距離）,差（斜距離）

・座標（CSV：末尾コンマ付）・・・点名,X座標,Y座標,Z座標,

※座標値の丸めは [現場共通設定] - [桁設定] の「X/Y座標」「Z座標」の丸めを使用します。（ [座標（SIMA）] も同様。）

※差は単位mmで出力します。

- 5 端末内のフォルダーに出力する場合は、
[指定フォルダー]を選択して[次へ]をタップします。

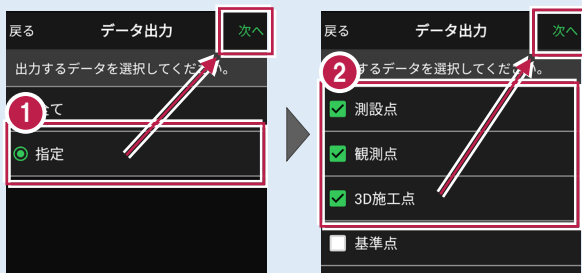
- 6 ファイル名を指定して
[実行]をタップします。
- Import_Exportフォルダーに座標データが出力されます。



座標データを選択して出力する場合は

[指定]を選択して
[次へ]をタップします。

出力する座標データの属性の
チェックをオンにして [次へ] を
タップします。

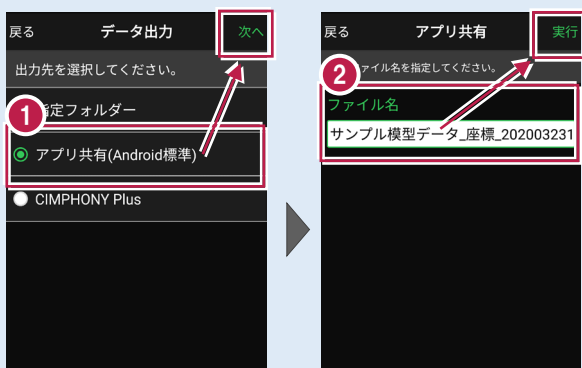


アプリ共有（クラウドストレージやメールなど）に出力する場合は

[アプリ共有]を選択して
[次へ]をタップします。

ファイル名を指定して
[実行]をタップします。

出力先（共有先）のアプリを
指定すると座標データが出力
されます。



8-3 横断現況データ（SIMA）を出力する

現場データ内の横断データを、横断SIMA形式で出力します。

出力されるのは、[観測]－[横断放射]で観測した横断データです。

- 1 ホーム画面の
[データ管理] をタップ
します。

- 2 [データ出力] をタップ
します。



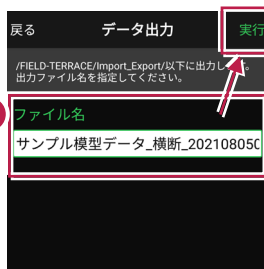
- 3 [横断現況（SIMA）]
を選択して [次へ] を
タップします。

- 4 端末内のフォルダーに出力
する場合は、
[指定フォルダー] を選択
して [次へ] をタップします。



- 5 ファイル名を指定して
[実行] をタップします。

Import_Exportフォルダー
に横断現況データが出力さ
れます。



8-4 出来形計測データ（XML）を出力する

現場データ内の出来形計測データを、XML形式で出力します。

出力されるのは、〔3D施工〕－〔出来形計測〕で観測した出来形計測データです。

- 1 ホーム画面の
〔データ管理〕をタップ
します。

- 2 〔データ出力〕をタップ
します。



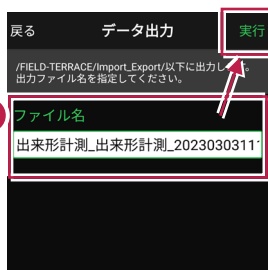
- 3 〔出来形計測〕を選択
して〔次へ〕をタップします。

- 4 端末内のフォルダーに出力
する場合は、
〔指定フォルダー〕を選択
して〔次へ〕をタップします。



- 5 ファイル名を指定して
〔実行〕をタップします。

Import_Exportフォルダー
に出来形計測データが出力
されます。



8-5 簡易TINデータ（LandXML）を出力する

現場データ内の簡易TINデータを、LandXML形式で出力します。

出力されるのは、[設計管理]－[TINデータ]で作成した簡易TINデータです。

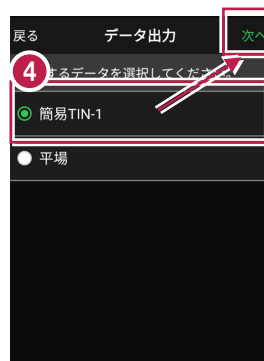
- 1 ホーム画面の
[データ管理] をタップ
します。

- 2 [データ出力] をタップ
します。



- 3 [簡易TIN（LandXML）]
を選択して [次へ] をタップ
します。

- 4 出力する簡易TINを選択
して [次へ] をタップします。



- 5 端末内のフォルダーに出力
する場合は、
[指定フォルダー] を選択
して [次へ] をタップします。

- 6 ファイル名を指定して
[実行] をタップします。

Import_Exportフォルダー
に簡易TINデータが出力さ
れます。



8-6 現場データ（FTZ、FTZS）を出力する

FIELD-TERRACEオリジナルの現場データ（FTZ、FTZSファイル）を出力します。

FTZ、FTZS ファイルを他プログラムで読み込むことはできません

FTZ、FTZSファイルは、他のスマートフォンのFIELD-TERRACEとの現場データの受け渡しなどに使用します。EX-TREND武蔵など他プログラムで読み込むことはできません。

- 1 ホーム画面の「メニュー」をタップします。



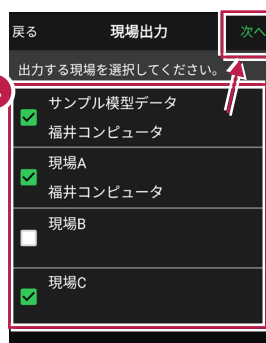
- 2 「現場 切り替え」をタップします。



- 3 「出力」をタップします。



- 4 出力する現場を選択して「次へ」をタップします。



- 5 端末内のフォルダーに出力する場合は、
「指定フォルダー」を選択して「次へ」をタップします。



- 6 ファイル名を指定して「実行」をタップします。



Import_Exportフォルダーに現場データ（FTZまたはFTZS）が出力されます。

拡張子は選択した現場が1つの場合はFTZ、複数の場合はFTZSになります。